

8日 土曜

テモテⅡ

4:9 あなたは、何とかして早く私のところに来てください。

4:10 デマスは今の世を愛し、私を見捨ててテサロニケに行ってしまいました。また、クレスキスはガラテヤに、テトスはダルマティアに行きました。

4:11 ルカだけが私とともにいます。マルコを伴って、一緒に来てください。彼は私の務めのために役に立つからです。

4:12 私はティキコをエペソに遣わしました。

4:13 あなたが来るとき、トロアスでカルポのところに置いてきた外套を持って来てください。また書物、特に羊皮紙の物を持って来てください。

4:14 銅細工人のアレクサンドロが私をひどく苦しめました。その行いに応じて、主が彼に報いられます。

4:15 あなたも彼を警戒しなさい。彼は私たちのことばに激しく逆らったからです。

4:16 私の最初の弁明の際、だれも私を支持してくれず、みな私を見捨ててしまいました。どうか、その責任を彼らが負わせられることがありませんように。

4:17 しかし、主は私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。それは、私を通してみことばが余すところなく宣べ伝えられ、すべての国の人々がみことばを聞くようになるためでした。こうして私は獅子の口から救い出されたのです。

4:18 主は私を、どんな悪しきわざからも救い出し、無事、天にある御国に入れてくださいます。主に栄光が世々限りなくありますように。アーメン。



4:19 プリスカとアキラによろしく。また、オネシポロの家族によろしく。

4:20 エラストはコリントにとどまり、病気のトロフィモはミレトスに残して来ました。

4:21 何とかして冬になる前に来てください。ユブロ、プデス、リノス、クラウディア、そしてすべての兄弟たちが、あなたによろしくとっています。

4:22 主があなたの霊とともにいてくださいますように。恵みがあなたがたとともにありますように。

パウロは自分の死が近いことを感じて、何ごとも率直に書いているようです。テモテに頼みごとをして、彼に対する信頼を表わし、また信仰からそれた人のことも書いていますが、それはテモテに警戒を教えるためかもしれません。

そしてそのような中でパウロは最終的には「主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。」と、証しをしています。

私たちも自分がさらけ出されるような状況で、率直に語ってしまうようなときにも、最後は主を讃えて感謝するような者でありたいと思います。

正直な証し人になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

